

日本麻酔科学会中国・四国支部第 61 回学術集会開催報告

2024 年 9 月 14 日（土）、高知市文化プラザかるぼーとにて、日本麻酔科学会中国・四国支部第 61 回学術集会が開催されました。本年度の学会は、河野 崇教授が会長を務め、当院からも多数の発表が行われました。参加者は 176 名に上り、地元開催ならではの活発な議論が交わされ、学術的に大変充実した会となりました。

当科からも多くの演者が参加し、特に優秀演題に選ばれた橋本 優希先生の「肺胞蛋白症に対する経食道超音波モニタリング下での全肺洗浄の経験」と、鶴野 倫子先生の「巨大後縦隔腫瘍に対する腹臥位両側同時胸腔鏡手術の麻酔経験」は、現場での高度な技術と知見が高く評価されました。

当科からの発表者と発表内容は以下の通りです：

- 渡橋 和政先生（招請講演）：「目となり耳となり、そして橋渡しとなる超音波」
- 勝又 祥文先生（招請講演）：「集中治療後症候群の最新知見：ケアの進化と未来への展望」
- 橋本 優希先生（優秀演題）：「肺胞蛋白症に対する経食道超音波モニタリング下での全肺洗浄の経験」
- 鶴野 倫子先生（優秀演題）：「巨大後縦隔腫瘍に対する腹臥位両側同時胸腔鏡手術の麻酔経験」
- 小松 明日香先生（周術期管理セミナー）：「麻酔三要素の一つである筋弛緩について」
- 立岩 浩規先生（周術期管理セミナー）：「全身麻酔薬の選び方と使用方法」
- 廣田 誠二先生（周術期管理セミナー）：「呼吸生理学の最新情報」
- 小田 吏欧先生（一般演題）：「脳性麻痺に伴う下肢痙縮に対する選択的脊髄後根切断術の麻酔経験」
- 村上 佳歩先生（一般演題）：「巨大頸部腫瘍による気道閉塞を呈した外来患者における Rapid Response System の有効性」
- 小山 毅先生（一般演題）：「CAPOS 症候群を合併した小児における安全な全身麻酔の施行例」
- 高橋 愛先生（一般演題）：「臀下部坐骨神経ブロック目的の超音波プレスキャンで発見された遺残座骨動脈の一例」

- **渡邊 啓吾先生（一般演題）**：「B型モノアミン酸化酵素阻害薬を服用しているパーキンソン病患者の大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術の麻酔経験」

学術集会全体としても、集中治療、特殊麻酔技術、周術期管理などの多様なテーマに対する最新の知見が提供され、多くの参加者が今後の臨床に活かすことを期待しています。

最後に、今回の学術集会の成功にあたり、麻酔科同門会の皆様から多大なるご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。この支援により、無事に学会を運営することができたことを改めて御礼申し上げます。

今後も当科一丸となり、麻酔科医療の発展と向上に尽力してまいります。どうぞ引き続きご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

